

2022年度委員会 [委員長所信・基本方針]

委員会名	まちの未来創造委員会
委員長氏名	毎月 第3金曜日
委員会開催予定日	藤田 峻弘
委員会開催予定時間	19時30～20時30分
委員会開催予定場所	事務局・委員長私邸

所 信

今年の20歳から40歳を構成するのは、大部分がY世代だ。Y世代の特徴の一つは、物の所有よりも経験の重視である。そして、今年のY世代は、家族にお金がかかるライフステージにあり、お金で経験欲を充足することは困難な時期にある。さて、こんなY世代のニーズを満たす経験は富士市に溢れているだろうか？8年前にこのまちに来て以来、まちを歩いて調査をしてきたが、俄かに肯定できない。今のままでは、まちの活性化は期待できない。

とすれば、我々がすべきことは明白だ。我々が、今年のY世代の欲求を満たす経験を提供すればいいのだ。では、それは如何なる経験か？それは、日常生活の中の自由時間における経験、その中でも特にレジャーであろう。したがって、お金のないY世代でも経験可能なレジャーを提供し、これによるまちの活性化こそが、我々の主目的となる。

しかし、まちの活性化の成功方法は未確立だ。つまり、我々は、地道に経験則から成功を目指すほかない。そのため、我々の取組みは必然的に「冒険」的になる。では、如何に「冒険」に取り組むべきか？偶然にも、我々とターゲットは同じ20歳から40歳の青年だ。であれば、我々自身や身近な人をターゲットにして考えればいい。我々自身や身近な人が笑顔になる方法の最大公約数を模索すれば、自ずと成功が見えるはずだ。そして、我々とターゲットは、レジャーの供給者と受給者の関係を止揚して、「協調者」の関係に変化するだろう。

最後に、私の究極の理想は、「冒険」の先に、まちとJCI富士に新たな文化を創出することにある。そして、我々がターゲットと互いに協調者として「冒険」に取り組み、その結果を共有できれば、その成功や反省を活かし、我々以外の誰かが次の種を蒔く契機になる。それがまた新たな文化の萌芽となる。そして、来るべきZ世代の時代を待とう。Z世代の特徴の一つは共有だ。彼らが共有を欲する文化の種を今年蒔こう。

基本方針

基本方針

- 1 全員拡大
- 2 失敗を恐れず挑む
- 3 より完全なる成功のために吟味する
- 4 幻想を抱かず理想を目指す